

3. 暴力や虐待の予防に向けて

Q11. 妊娠中のDVを発見するために、医療機関では女性に対してどのような対応が勧められていますか？ [CQ102]

妊娠期の女性が安心してDV(Domestic Violence)*を打ち明けられる環境の整備が勧められています。加えて、妊婦に対して、DVスクリーニングを実施することが望まれています。

DVは、現在または過去のパートナー・夫からの身体的、性的、心理的暴力*を指します。妊婦の約5%に起こっており決して珍しいことではありません¹⁾。医療機関では、母子の健康と安全を確保するために、妊娠期の女性が、安心してDVについて打ち明けられる環境を整備することが助産ガイドラインでは勧められています。ご不安なこと、相談したいことがありましたら、いつでもお声がけください。妊婦健診の際などに、妊婦へのDVスクリーニングを実施している施設もあります。

DVスクリーニングとは、DVを受けている可能性がある人を見つけるための検査のことです。この検査を実施する際は、女性のプライバシーが守られる場所で、かつパートナーや他の家族を同席させずに、女性が一人のときに行います。スクリーニングを行うことで、DVにあっていない女性の発見を高める効果があります。他に、妊娠期の発見によって、早産や極低出生体重児を減少させるという効果の可能性も報告されています。

スクリーニングを行う負の影響としてわずかに報告されていることは、スクリーニングを受けることでの不快感、プライバシーの侵害、DVを他の人に告白することによる暴力の悪化に対する心配、DV被害者とラベリングされてしまう、などが挙げられています²⁾。

スクリーニングだけでは、暴力の再発防止を抑制することはできないため、その先の支援につなげる必要性が指摘されています。

用語の説明

* 7 DV(ドメスティック・バイオレンス)³⁾

DVとは、親密な関係にあるパートナーへの暴力のことです。親密な関係とは、恋人、元恋人、夫や妻、元夫や元妻などを指します。DVには、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力があり、安全や尊厳を脅かす力の行使とみなされます。身体的暴力とは、外傷など

の害を及ぼすかもしれない身体的な力を故意に使うことを指します。身体的暴力には、引っかけ、押す、突き飛ばす、投げ飛ばす、強くつかむ、噛み付く、髪を引っ張る、平手打ちをする、殴る、火傷させるなどが含まれます。

精神的暴力とは、精神的な危害または苦痛となる行為、あるいはそうなる恐れのある行為であり、さらに、そのような行為としての威嚇、強制を含みます。言葉により侮辱する、行動をコントロールする、孤立させる、相手が意に沿わないと無視するなどの行為、または脅しを指します。

性的暴力とは、本人の意思に反して、性的行為を強要することを指します。見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる、中絶を強要する、避妊に協力しないことも含みます。

引用・参考文献

- 1) 片岡 弥恵子, 八重 ゆかり, 江藤 宏美, 堀内 成子. 妊娠期におけるドメスティック・バイオレンス. 日公衛誌 2005;52(9):785-795.
- 2) National Institute for Health and Care Excellence. Antenatal care for uncomplicated pregnancies [CG62] (updated 2017). 2008.
<https://www.nice.org.uk/guidance/cg62/evidence/full-guideline-pdf-196748323>;
<https://www.nice.org.uk/guidance/cg62/resources/antenatal-care-for-uncomplicated-pregnancies-pdf-975564597445> [updated]
- 3) 聖路加看護大学 女性を中心にしたケア研究班. EBM の手法による周産期ドメスティック・バイオレンスの支援ガイドライン Minds 版. 2004, 金原出版. 東京.
<https://minds.jcqhc.or.jp/n/med/4/med0027/G0000069/0045>